

『12月の主な動き』

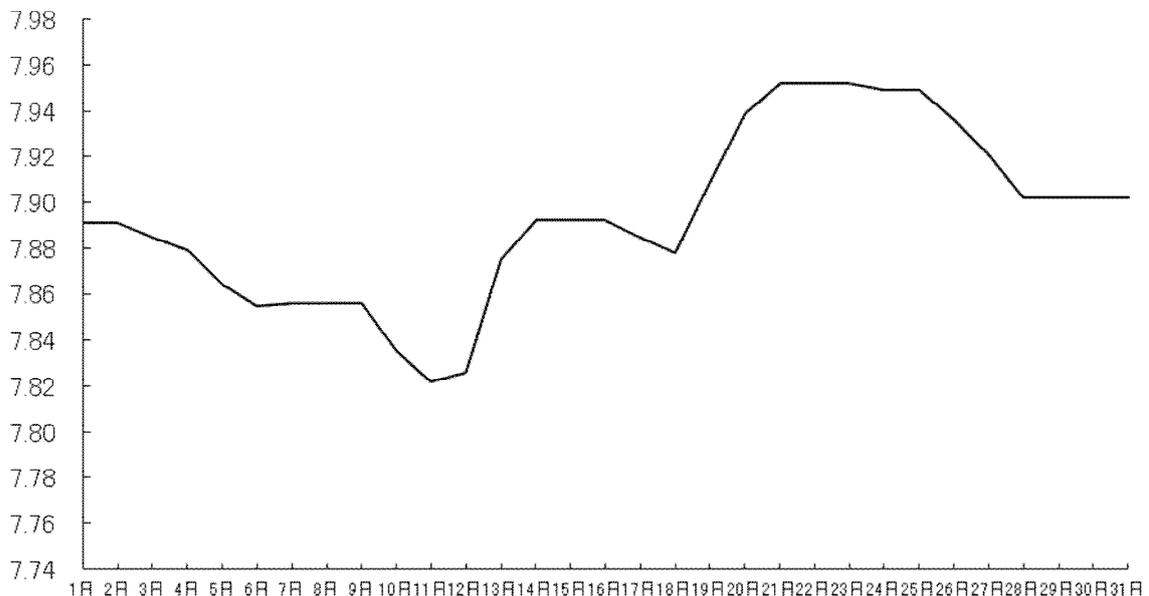
- 12月、対米ドル・ケツアル為替は1ドル=7.822~7.952の範囲で推移した。
- 12月、消費者物価指数は対前月比0.54%増、対前年同月比では3.45%上昇した。
- 11月、外国からの送金額は前月に比べ上昇、対前年同月比では8.13%増となった。
- 1日、ペニャ・ニエト新大統領就任式出席のためメキシコを訪問したペレス・モリーナ大統領は、当国への更なる投資誘致に向け、各国政府関係者及び企業家と会談した。
- 11日、CEPALは2012年の当国の経済成長率を3.3%程度に留まると発表した。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート（中銀）

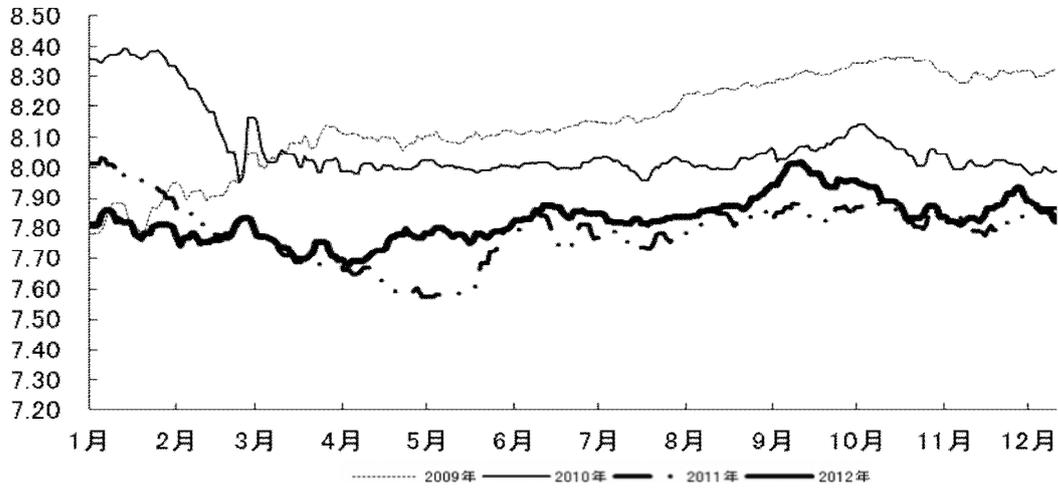
12月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1ドル=7.822~7.952の範囲で推移した。12月31日時点の為替レートは同月初頭に比べ0.0110ケツアル安ドル高の1ドル=7.9023ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2012年12月



(出典：グアテマラ中央銀行)

ケツアル対ドル相場の推移：2009年-2012年

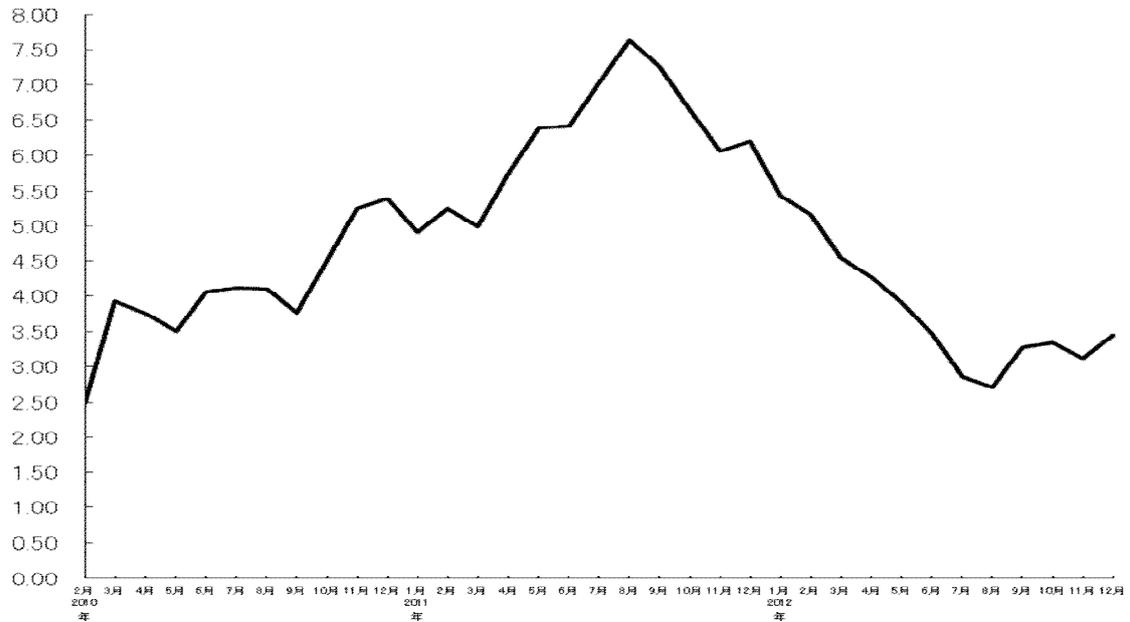


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数 (国立統計院)

12月、消費者物価指数は前月比で0.54%上昇し、前年同月比でも3.45%上昇した。

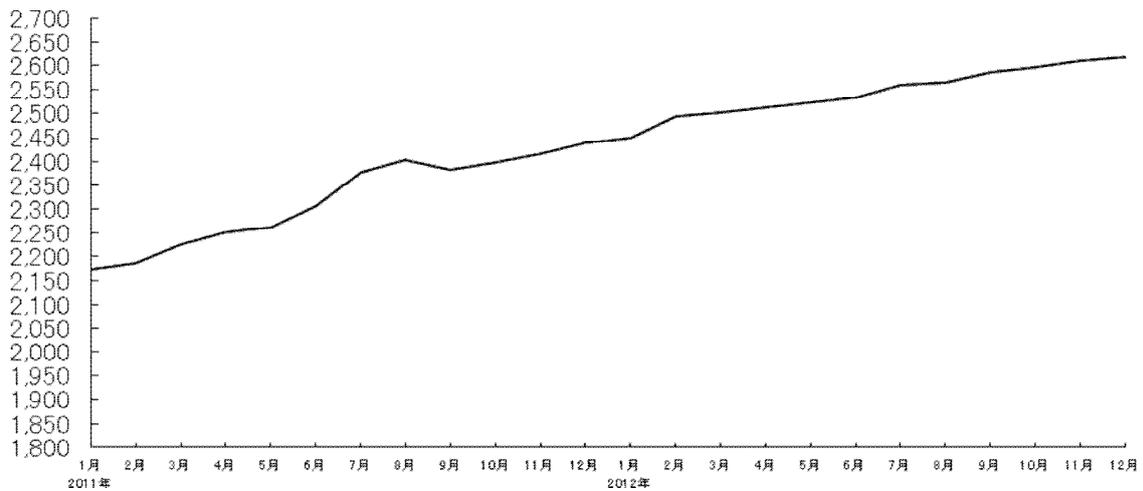
消費者物価変動率(対前年同月比:%)：2010-2012年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1世帯 5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26品目）価格は、前月比 8.70 ケツアル増の 2,617.80 ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2010-2012年
(単位：ケツアル)



(出典：国立統計院)

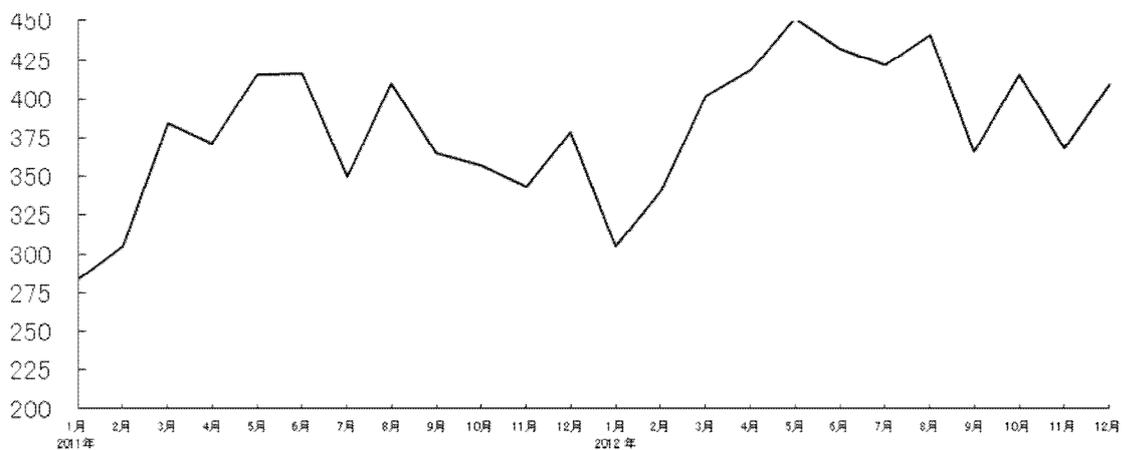
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比 22.44 ケツアル増の 4,761.13 ケツアル/月となった。

(3) 外国からの送金 (中銀)

12月、外国からの送金額は前月に比べ上昇し、前年同月比 8.13%増の 4 億 922 万ドルとなった。

外国からの送金額：2011-2012 年

(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

2. 経済トピックス

(1) CEPAL による当国経済見通し

(ア) 11日、CEPALは「2012年ラテンアメリカ・カリブ経済暫定報告 (El informe balance preliminar de las economías de América Latina y Caribe 2012)」を発表した。同報告によれば、当国の経済成長率は、2012年については米国経済の減退に伴う消費及び輸出の低迷並びにEU経済の見通しの悪化が影響して3.3%に留まるものの、2013年については国内投資の拡大により3.5%の成長が見込まれている。

(イ) 2012年及び2013年の中米諸国の経済成長率見通しは以下のとおり。

	2012年	2013年
グアテマラ	3.3%	3.5%
エルサルバドル	1.2%	2.0%
ホンジュラス	3.5%	(未発表)
ニカラグア	4.0%	4.5%
コスタリカ	5.9%	3.5%
パナマ	10.5%	7.5%

(2) 当國中銀による 2012 年当国マクロ経済予測

(ア) 20 日、バルキン中銀総裁は、2012 年最後の国家金融審議会 (JM) の会合において、同年の当国の経済成長率は鉱山採掘部門を除く全ての部門がプラスの成長を記録したことから 3% (当初の見通しは 2.9~3.3%) に達する見通しであると述べた。

(イ) 27 日、当地主要紙「プレンサ・リブレ」は 2012 年のマクロ経済の見通しに関する同総裁のインタビュー記事を掲載、右記事よれば、同年の当国の年間インフレ率は当初の見通し (4.5%) を大きく下回る 3.3%、外貨準備高は 6,900 百万ドル、当国への海外送金は 4,700 百万ドル、外国直接投資は 1,000 百万ドル、民間部門への貸付額は対前年比 16% 増、財政赤字は対 GDP 比 2.2% 程度との見通し。他方、2013 年については、中国、EU 諸国の経済の減速が懸念される中、海外送金の増加 (対前年比 6% 増の 5,050 百万ドル)、民間部門への貸付の拡大 (対前年比 15% 増)、外国直接投資の増加 (対前年比 10% 増) 等により当国経済は 3.5~3.9% の成長率を達成すると予測している旨述べた。なお、外貨準備高は 7,200 百万ドル、財政赤字は対 GDP 比 2.5%、インフレ率は 4% 程度と見込んでいる由。

(3) 最低賃金の引き上げ

14 日、国家賃金委員会 (GSN) は、2013 年 1 月から最低賃金を 5% 引き上げることで合意した。右引き上げにより、1 日当たりの最低賃金が非農業部門は 68 ケツアルから 71.40 ケツアル、マキラ・輸出部門は 62.50 ケツアルから 65.63 ケツアルに引き上げられることになった。

(4) OECD のグレーリストからの卒業

5 日、当国政府は、当国が OECD のグレーリスト (OECD 基準にコミットしているが、実施が不十分な国・地域) からの卒業に関する文書に署名し、今後は OECD の多国間条約の一つである租税に関する相互行政支援に関する条約 (税務行政執行共助条約) への調印を行う準備を進める旨発表した。グティエレス国税庁 (SAT) 長官は、同リストからの卒業は国際社会における当国のイメージ向上と外国直接投資誘致の促進につながるものである旨述べた。

(5) ペレス・モリーナ大統領のメキシコ訪問

(ア) 1 日、ペニャ・ニエト新大統領就任式出席のためメキシコを訪問したペレス・モリーナ大統領は、同式典直前に韓国の金滉植国務総理を始めとする韓国代表団と会談した。同会談において、金総理がグアテマラ及び韓国の経済発展の促進に向けて韓国の経済政策を共有し合う用意がある旨述べたのに対し、「ペ」大統領は、韓国経済の成長に勢いがあることは知られており、同国の例はグアテマラが経済的・社会的な後進状態から抜け出す手本となる旨述べ、同総理のグアテマラ公式訪問が実現するよう呼びかけた。

(イ) 「ペ」大統領はメキシコの企業家とも会談し、当国の法の確実性及び治安の改善について言及しつつ、当国への投資誘致を呼びかけたのに対し、同会談に出席した企業家からは当国のエネルギー、石油採掘、商業等の分野への投資に関心が示された。

(6) スペイン企業家の当国訪問

3日、ハイメ・ガルシア・レガ・スペイン商務担当次官は、当国でのビジネスに関心を示すスペインの企業家等22名（ザラ、プル・アンド・ベア等のブランドを展開するアパレルメーカーINDITEX社他、通信、建設、再生可能エネルギー、レストラン、ロジスティック、交通、アグロインダストリー等に携わる企業）を伴い当国を訪問し、ペレス・モリーナ大統領と会談した。同会談において、スペインの企業家等は、現政権が推進する治安改善及び経済政策について意見を交換、当国でビジネスを行う魅力について認識を深めるに至った旨述べると共に、当国への新規投資に意欲を示した。他方、「ペ」大統領は、外国投資の誘致に向けて投資環境の整備実現に努力していくことを約束した。

(7) 中米4カ国とEFTA加盟国との第5回自由貿易協定締結交渉

14日、当国経済省は、当国においてグアテマラ、ホンジュラス、コスタリカ、パナマの中米4カ国とEFTA（欧州自由貿易連合）加盟国であるスイス、ノルウェー、リヒテンシュタイン、アイスランドとの間で第5回自由貿易締結交渉が行われた結果、通商、競争力、政府調達及び通信の各分野における技術的問題に関し合意に至ったと発表した。また、同交渉では、投資、国際サービス貿易、原産地規則、知的所有権、金融サービス、市場アクセス規則にかかる見直しも行われた。なお、2012年10月にスイスのジュネーブで行われた前回交渉では、検疫措置及び植物衛生について協議されている。デ・ラ・トーレ経済相は、本協定は2012年6月に署名された（EU議会及びニカラグアは既に発効済み）中米EU連携協定を補完するものであり、本件協定署名に向けて2013年も引き続き交渉を行っていく旨述べた。

(了)